

Commissioned by



HIGH LEVEL PANEL for
A SUSTAINABLE
OCEAN ECONOMY

BLUE PAPER

意思決定者のための概要

海洋の移行：システムの移行から何を学ぶべきか

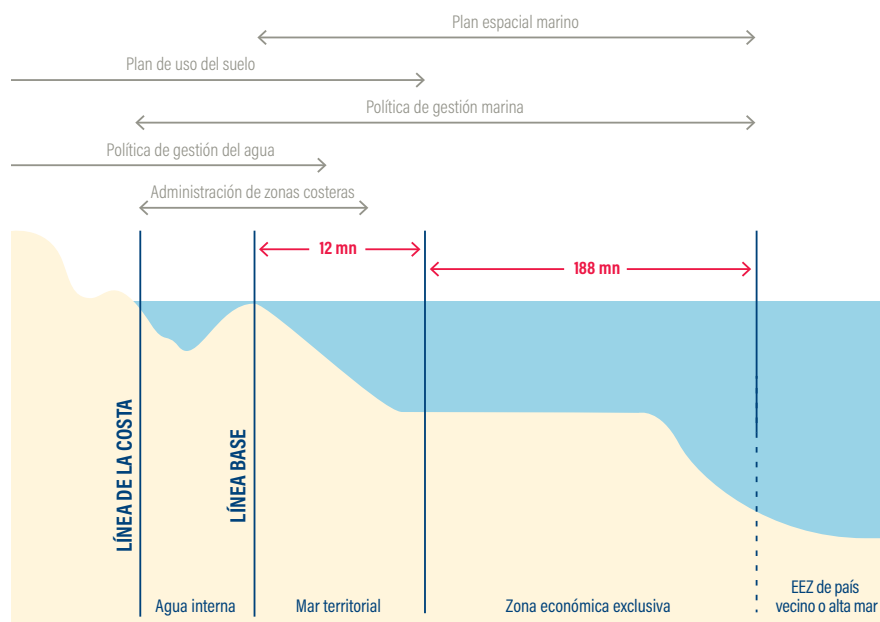
重要な指標から、「普段の生活」が重要な生物物理学的海洋機能を崩壊させ、世界の経済と社会に重大な影響を及ぼすことが明らかです。海洋がもたらす多様な生命維持の役割が続くことを保証するには、人類と海洋間の新たな関係が必要です。

さまざまな生態系間の複雑な相互連結に関する新たな知見が貢献し、海洋統治に対してもっとトータルなアプローチが必要だという認識が高まっています。現在の海洋統治制度は、さまざまな管理境界と部門にまたがって細分化されており、乱獲、プラスチック汚染などの人間活動や気候に関連する海洋変化が原因で増加し、次々と波及するリスクに対抗するために必要な、統合された対策が妨げられています(図1)。

持続可能な海洋経済への変革には、トータルな海洋管理が可能な新しい統治構造を作成する必要があります。

High Level Panel for a Sustainable Ocean Economy (持続可能な海洋経済に関するハイレベルパネル)を裏付ける新しい文書は、どのような統治構成であれば¹、世界の公共財として海洋を適切に管理できるようになるか検討することによって、この課題に真っ向から対応します。文書では、過去の社会的移行を促進した条件とそれを可能にした統治協定を分析します。さらに、ローカル、リージョン、グローバルレベルですでに発生している、システムの移行も検討します。

図1. スウェーデンの源から海までのシステムにおける独立し、重なり合っている管理の枠組み



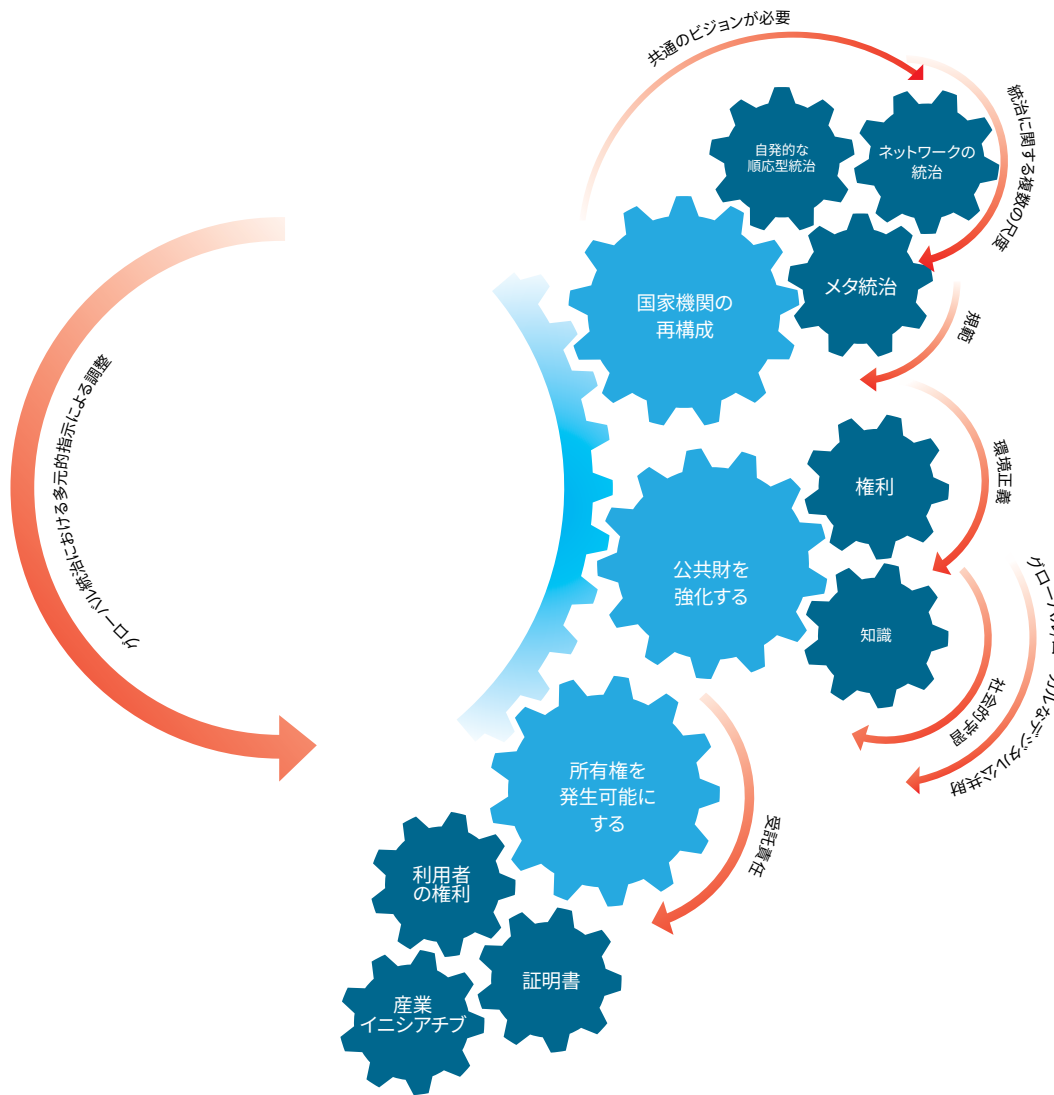
出典：Mathewsおよびその他、2019年。

海洋統治の変革理論を形成するために、次の要素が考慮されるように、枠組みを適合させました。

- **統治基準**：現在の海洋統治体制の概要です。
- **海洋力学**：部門別にステークホルダーを特定し、海洋経済の主要部門で機能する力学について説明します。
- **変革推進要因**：システムを揺るがしている変化の性質（温室ガス排出、乱獲、海底/陸上利用、脆弱な統治）を特定します。
- **ニッチイノベーション**：海洋統治に適用されている現在の傾向に注意を集めることによって、海洋システムがどのように進化したか、概要を示します（開発計画と災害リスク管理に関する生態系に基づく管理、権利ベースの漁業管理、企業の共有受託責任、違法、無申告、無秩序な漁業、サプライチェーンの透明性、海洋の持続可能性における正義など）。
- **移行力学**：明確な進路を提案し、ローカル、全国、リージョン、グローバルレベルで実行し、順調な移行を立証するアクションの例を示します。

海洋システムの複雑さを考慮する海洋統治体制に移行するには、超国家的政策と規範とする指針、順応性と柔軟性を備えた枠組み、ボトムアップ型の受託責任を含め、さまざまな統治スタイルを組み合わせる必要があります。本文書では、複雑な海洋システムにおいて持続可能な移行を促進するような、グローバルな海洋統治の枠組みを実現する、統治の一連の構成要素とプロセスを提案します(図2)。

図2. 効果的な世界の海洋統治への移行を特徴づける要素



出典: 執筆者、Bollier 2016から引用した概念要素。

行動の機会

移行の触媒として、進行中の移行に役立ち、海洋管理および統治の複雑さに適した、一連の新しいプロセスおよび力学を推進するアクションに関して、4つの広範な機会を提案します。

1. 国連の海洋プロセスを支持します

UNCLOS協定の無所属国家による批准を提唱します

可能なかぎり早い、また2025年を超えることのない、国レベルでのBBNJの批准、導入、運用可能化を促進します

可能なかぎり早い、また2025年を超えることのない、世界協定（または同様の国連条約）を批准、導入し、ローカライズします

UNEP、Communities of Ocean Action、Ocean Conference Voluntary Commitmentsなど、国連のその他のイニシアチブを支持します

2. 新たな生態系秩序を創出します

移行プロセスと力学を支援するために、新たな超国家的「海洋局」を設立し、移行プロセスの指針となる規範を策定し、現地状況の問題を考慮し、システム推進要因の変動に合わせて調整できる十分な能力を備え、対話型の開発が可能な、柔軟性と順応性のある枠組みを設計します

全国的な自発的取り組みの報告、取り組みのモニタリングと調整を改善することによって、自発的な再帰的統治を強化します

国による多元的統治モデルの推進を奨励します。これは総合的なトップダウンの原則が指針になりますが、資源の利用に関しては、ボトムアップ型の意思決定が働きます

3. 主権コミュニティに貢献します

生態学的に健全な環境に対する人権のグローバルな認識

ローカルからグローバルな規模まで、増加しているリーダーの多様性に対応する能力の形成。これにより、各自のビジョンと意欲を発展させ、維持することとともに、対話を発生させる能力を開発することも学習します

デジタルの海洋知識と学習共有材を創出します

4. 海洋受託責任の概念を発展させます

産業イニシアチブのローカルユーザー権利プログラム、証明書、表彰を通じて、財産権と受託責任を統合します

海洋システムの未来を守ることによって、または軽率な政治介入から生じる不公平なアクセス機会や利益の分配によって、市民に過度な負担がかかるリスクを回避できるのは、市民社会の権利間のバランスと統治に関する強力なリーダーシップのみです。このようなバランスを実現するには、地域社会から国および国際レベルのアクションに至るまで、意欲と協力を強化する必要があります。特に国の管轄権が及ばない領域において、衝突を解消し、さまざまな利用者間で公正な配分を実現するには、説明責任、透明性、参加の仕組みを強化することも必要です。

持続可能な海洋経済に関するハイレベル・パネル(HLP)は、国連持続可能な開発目標をサポートし、人間と地球にとってのよりよい未来を作り上げるために2018年9月に発足した。HLPは、海洋の健全性と豊かさのための大胆で、プラグマティックな解決策を見つけ出すことを約束した14の国家元首からなる他に類を見ないグローバルなイニシアティブである。

HLPは、オーストラリア、カナダ、チリ、フィジー、ガーナ、インドネシア、ジャマイカ、日本、ケニア、メキシコ、ナミビア、ノルウェー、パラオ、ポルトガルの大統領または首相をメンバーとし、分析作業、コミュニケーション、ステークホルダー・エンゲージメントを支援する専門家グループ、アドバイザリー・ネットワーク、事務局のサポートを受けている。

この概要文書が要約した元の報告書は、海洋と経済が交錯する緊急の課題を研究する青書シリーズの一部としてHLPにより作成依頼されたものであった。青書シリーズは、47カ国から参集した世界の先端を行く160を超える専門家により執筆される。青書は、海洋とのより持続的で、豊かな関係の構築を進めていく上で助けとなる科学、技術、政策、ガバナンスおよび金融の各領域での斬新な解決策に関する最新の科学と科学の現状を取りまとめることを目的としている。青書は、HLPの活動と最終勧告のための強固な知的基盤を提供する。青書は、2019年11月から2020年6月にかけて定期的に発表され、2020年6月にリスボンで開催される国連海洋会議の前に、HLP青書全集(HLP Blue Paper Compendium)として編纂され、提供される。

各青書で示された議論、発見、勧告は、筆者個人の考えを表している。HLPは青書における発見と行動機会に関する提言一般を支持するが、メンバーは青書を承認することを求められておらず、また承認したものとして理解されるべきではない。

青書全文を含む詳細については：www.oceanpanel.org.

1 Swilling, M., M. Ruckelshaus, T. Brodie Rudolph et al. 2020. *The Ocean Transition: What to Learn from System Transitions*. Washington, DC: World Resources Institute. www.oceanpanel.org/blue-papers/ocean-transition-what-learn-system-transitions